

1 助成対象事業

事業名	こどもミニフォーラム「 ” ハンナのかばん ” から 」(仮名称)開催と報告集の作成	
事業種別 (A)	<input checked="" type="checkbox"/> 既存事業	<input type="checkbox"/> 新規事業
この事業に対し他の助成の有無 (B) (申請中のものを含む。)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	有の場合は助成団体及び助成額 団体： 助成額： 円
事業実施地域及び会場 (C)	新宿区内から全国の小中高校生まで 四谷地域センター多目的ホール(予定)	
スケジュール (実施期間等) (D)	2005年 7月 こどもミニフォーラム広報スタート 2006年 3月春休み こどもミニフォーラム開催 4-5月 報告集作成 6月 新宿区内の学校を中心に配布	
活動概要	区民ニーズの把握状況 (それは、どのように把握したかを含む。) (E-1)	2003年よりこれまで150ヶ所をこえる全国の学校で命の大切さを学ぶ「ハンナのかばん」訪問授業を行ってまいりました。子どもたちから届く感想文などを通して、命の尊さ、差別や偏見の愚かさ、家族の大切さ、思いやりの心などをそれぞれに学んでくれた様子が伝わってきています。また国内外の「ハンナのかばん」読者からも多くの手紙や詩、絵、歌などが届き、子どもたち同士で「ハンナのことを友達に伝えたい」「思いを共有したい」という声も聞かれます。新宿区では、2005年3月に初めて、市民による新宿区平和派遣の会と新宿区総務部男女共同参画青少年平和課の共催で講演会を開いていただきました。子どもから大人まで約100名に集まっていたいただき、特に学校の先生や保護者の方たちから「学校単位で子どもにもっと聞かせてほしい」という要望をいただきました。このような中で、今後さらに学びを深め、広げていくために今事業の意義を確信しています。
	対象者等 (区民等が享受する予想利益、区民等にもたらされる利益等について具体的に記入してください。) (E-2)	新宿区内から全国の小中高校生、保護者や先生など。 今事業を通して、特に子どもたちが、命と人権を尊ぶ心、人を思いやる心を育み、身の回りの差別や偏見、また世界の現状へも視野を広げるきっかけとしてくれることを期待しています。
	地域の人たちの事業への係わり方 (E-3)	新宿区内の小中高校生には積極的にフォーラムへの参加をよびかけたい。また、区内在住の先生、保護者を中心とした一般の皆様にもフォーラムの告知や実施へのボランティア協力をよびかけたいと考えています。

具体的な活動内容	<p>活動内容詳細 必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等を添付し、又は印刷物等の資料を提出していただいても結構です。 (F - 1)</p>	<p>これまでの経緯 当センターでは児童書『ハンナのかばん』(2003年課題図書)をテーマとした訪問授業を約150ヶ所の学校で実施してきました。(別添資料をご参照ください) 半世紀前のホロコーストの中で13歳の短い生涯を閉じた少女ハンナを中心に、現代の日本の子どもたちがハンナの唯一の生き延びた家族である兄ジョージ・ブレイディ氏と出会うまでが描かれたこの実話は、悲しみと希望、過去と現在の両要素が含まれ、小中高校生に命の尊さを伝える分かりやすい教材であると多くの先生や保護者の皆様から評価していただいています。2005年6~12月も現在15ヶ所での訪問授業を予定しています。</p> <p>こどもミニフォーラムの開催(2006年春休み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアの子どもたち5名を中心に企画 ・ 「ハンナのかばん」に寄せられた国内外の子どもたちの学びの取り組みを紹介(世界の子どもたちから寄せられた手紙や、カナダの中学生による「ハンナのかばん」プロジェクトなど) ・ 事前に募集した参加者からの発表 (例 「ハンナへ」「ハンナの兄、ジョージさんへ」「海外の友達へ伝えたいこと」「平和のために私ができること」など) ・ 子どもたち同士の意見交換 <p>報告書の作成 以下の内容を含む報告書を「子どもたちから寄せられた声」を中心に編集し、新宿区内の学校へ配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去150ヶ所で行った訪問授業先から送られてきた子どもたちの手紙、詩、絵、歌、および演劇などの取り組み ・ こどもミニフォーラムの報告 ・ 資料集。「ハンナのかばん」の訪問授業を行った学校や同書の読者の子どもたちから「もっと知りたい」という質問が多く寄せられています。学習をさらに深めてもらうための学習参考資料も追加する予定です
	<p>必要とされる人員、設備等 (F - 2)</p>	<p>スタッフ2名、ボランティア15名の他に、報告書の編集作成担当としてアルバイト1名</p>
	<p>実行体制、必要な人材の確保のめど等 (F - 3)</p>	<p>当センターの登録ボランティア約50名から今事業への協力スタッフ15名を、また新たに短期アルバイト1名(2006年4-5月頃、約2ヶ月間)を募集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フォーラム実行スタッフ・・・ボランティア12名 ・ 資料作成スタッフ・・・アルバイト1名、ボランティア3名

	<p>期待される成果（地域にもたらず具体的効果） （ F - 4 ）</p>	<p>命と人権を尊ぶ心、他者を思いやる心、世界への広い視野など、今事業を通して目指すものは、共生の時代を担う子どもたちを国際社会の責任ある一員として育てるために欠かすことのできない教育の一環と確信しています。</p> <p>先生や保護者の皆様にも、さらに理解を深めていただき、区内の命の授業・人権学習をより充実させる一歩となることが期待されます。</p>
--	--	---